

決算審査における事業評価の結果の反映状況

1 事業名等

事業番号	8	事業名 (実施計画名)	こんにちは赤ちゃん訪問事業
事務事業名 (業務棚卸評価)	こんにちは赤ちゃん訪問事業		
担当部課	こども育成部こども育成相談課		

2 決算審査における事業評価の結果

議会評価	拡充する
理由	本事業については、まだ始めて2年目の事業であり、適正な事業となるよう拡充して実施する必要がある。
附帯意見	訪問拒否の実態がある中での対応の改善や保健福祉事務所との連携も含め、費用負担、効率性についての検討が必要である。目標値の精査を図る必要がある。

3 評価結果の反映状況

事業費	23年度予算額 (案)	(参考) 22年度予算額	(参考) 21年度決算額
	6,096 千円	5,911 千円	5,212 千円
議会評価に対する考え方	<p>訪問拒否の実態把握と対応につきましては、引き続き努力していきます。また、低体重児等を担当している保健福祉事務所との連携を十分図っていきます。</p> <p>訪問率の目標を100%としている理由は、児童福祉法で、原則として生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問することとなっているためです。義務付けではないなかで、訪問率100%を実現する難しさはありますが、今後も訪問率の更なる向上と訪問内容の充実に努めていきたいと考えています。</p>		
今後の事業展望	<p>母子健康手帳の交付時における丁寧な説明、連絡先の複数把握等に心掛け、対象家庭を全て訪問できるように努めるとともに、長期里帰り、長期入院、訪問拒否等により訪問できない場合は、4か月児健康診査の受診状況や予防接種の接種状況等から健康状態や生活状況の把握に努めます。</p>		